



プロフェッショナル&パラレルキャリア
フリーランス協会

誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ

2018.5.22

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会
代表理事 平田麻莉



自己紹介

平田麻莉

一般社団法人プロフェッショナル＆
パラレルキャリア・フリーランス協会 代表理事



大学在学中よりインターンとしてPR会社ビルコムビルコムの創業期に参画。大手企業からベンチャーまで、国内外50社以上において広報の戦略・企画・実働を担う。慶應義塾大学ビジネス・スクールを経て、同校の職員および慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程学生として、フリーランス＆パラレルキャリア活動を開始。

現在は、フリーランスとして企業広報、書籍出版、エグゼクティブ人材育成のためのケースメソッド教材制作、ビジネスコラム執筆、翻訳などに従事。企画・プロモーションを手掛けた『予約がとれない伝説の家政婦が教える魔法の作りおき』（主婦と生活社）、『志麻さんのプレミアムな作りおき』（ダイヤモンド社）、『伝説の家政婦mako 魔法のポリ袋レシピ』は、たちまち重版となりベストセラーになっている。



フリーランスの声を一つに

名称

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会

代表理事

平田麻莉

理事

守屋実、田中美和、中山綾子、内藤博之、潮田沙弥、西村創一郎

設立年月日

2017年1月26日(同年4月20日に一般社団法人化)

所在地

〒103-0028 東京都中央区八重洲2-8-7 福岡ビル4FDIAGONAL RUN TOKYO内

事業内容

フリーランス向けベネフィットプランの提供

フリーランス支援・啓発イベントの企画運営



メルマガ会員

4800人

+SNSフォロワーが2700人

一般会員

1000人

賛助企業

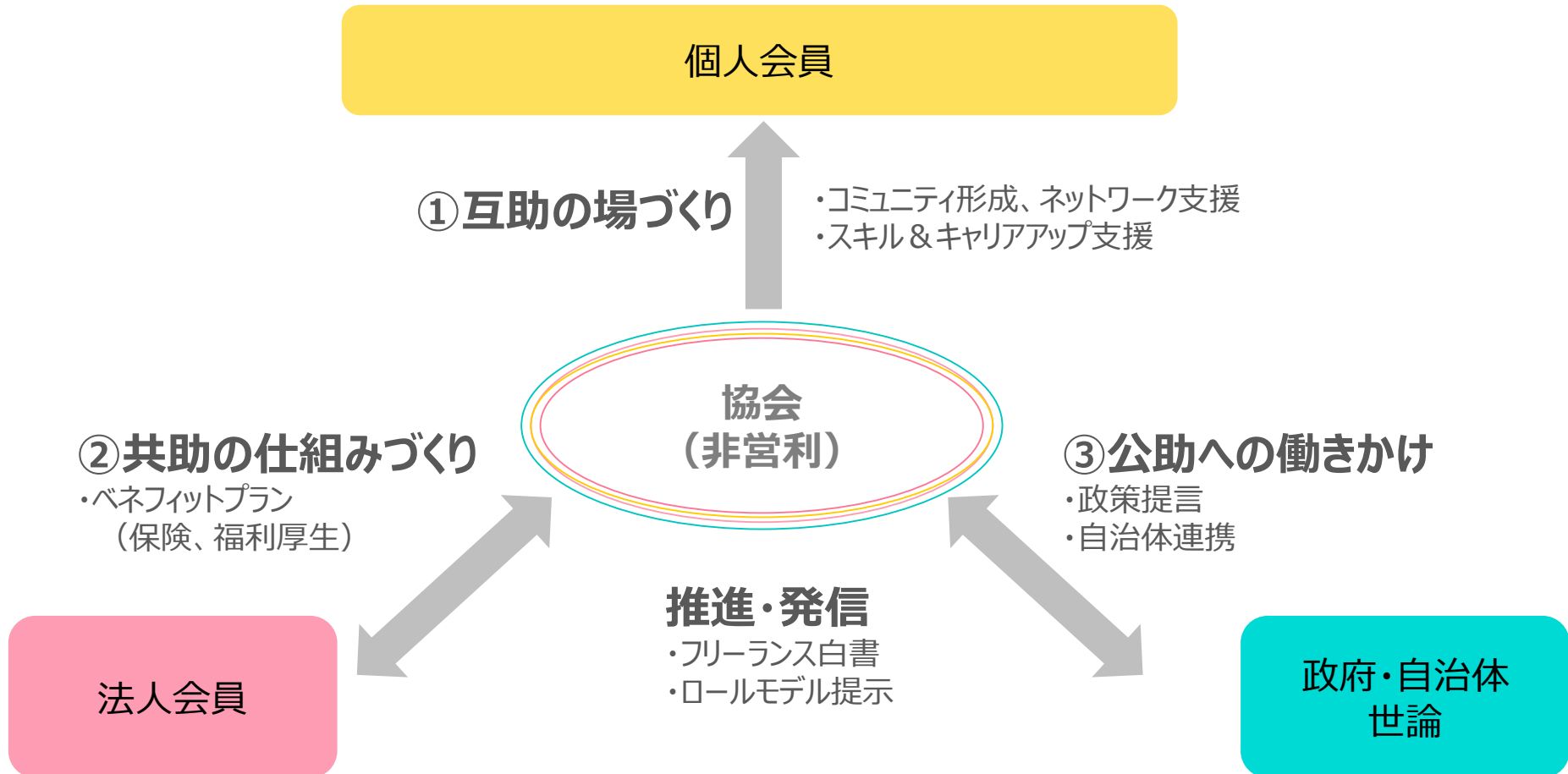
77社

※2018年5月現在



フリーランス協会のビジョンと役割

誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ
～自分の名前で仕事をしたい人のためのインフラ&コミュニティ～





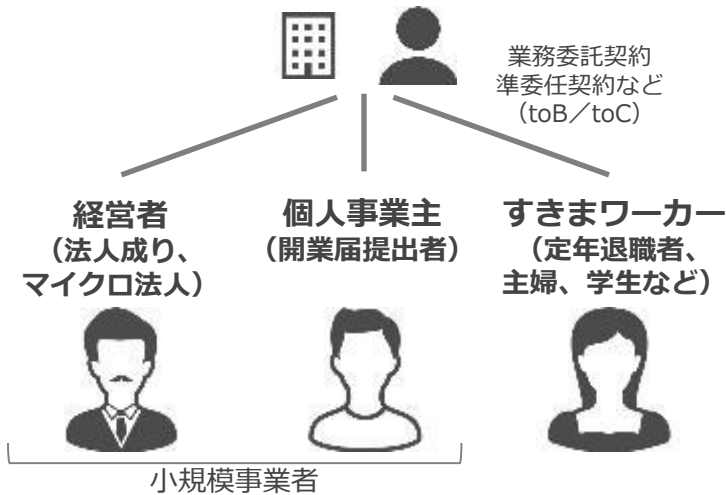
①フリーランスとは



広義のフリーランスの類型



独立系 フリーランス (雇用関係なし)



副業系 フリーランス (雇用関係あり)

※派遣・アルバイトを含む



経済法（独禁法、下請法）、民法（請負、準委任）			適用法	労働法（本業時）＋経済法、民法（副業時）			労働法
健康保険組合or 協会けんぽ	国民健康保険 or扶養	扶養or 国民健康保険	健康保険	健康保険組合			
第2号	第1号	第1号 or第3号	年金保険	第2号 or 第3号			
×	×	×	雇用保険	○	○	○	○
× ※但し、特別加入制度あり			労災保険	○	○	○	○
×	×	×	労働時間規制	通算義務なし			通算義務有



フリーランスの職種の多様化

クリエイティブディレクター コピーライター アートディレクター 編集者 アニメーター スタイリスト 美容師 一人親方 トラック運転手

映像ディレクターダンサー 音楽家 アーティスト イラストレーター フードコーディネーター ハンドメイド作家 **minne** ミンネ

OurPhoto フォトグラファー

CREATORS MATCH Ltd. クリエイター・WEBデザイナー

geechs

PERSOL

パーソナルテクノロジースタッフ



エンジニア

ITPRO PARTNERS

BRANDING ENGINEER

Lancers ライター、データ入力など

CrowdWorks

mirai works コンサルタント・顧問

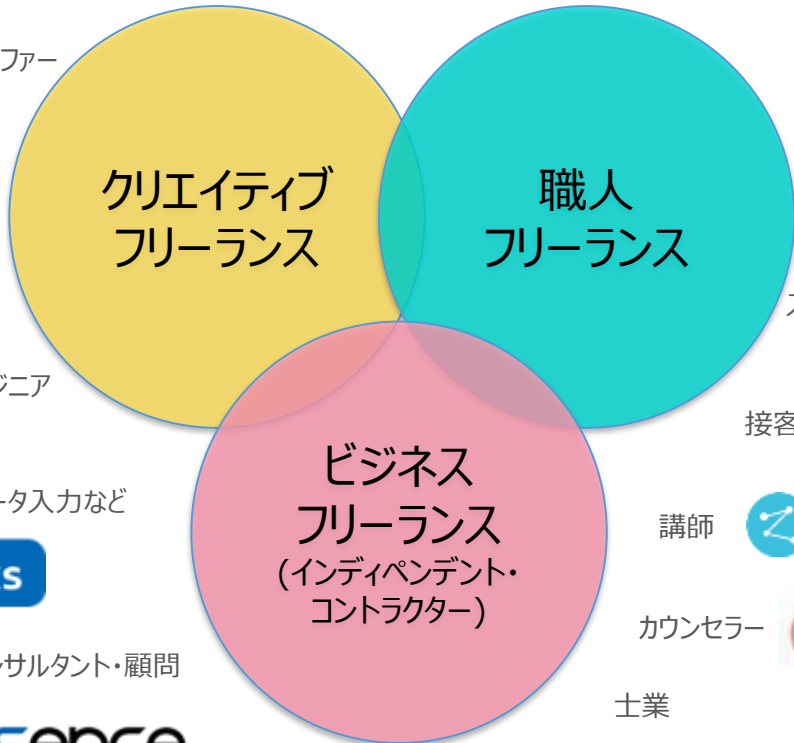
essence



CIRCULATION

広報・マーケター・人事・財務スペシャリスト

Waris



シェフ **MyChef**

ハウスキーパー・整理収納アドバイザー **タスカジ** TASKAJI housekeeping

スポーツトレーナー・コーチ

SPORTS DATA BANK
Sports Data Bank Group

接客・販売

講師 **zehitomo**

GLOBAL CROWN

カウンセラー



士業

スポットコンサル・アドバイザー

VQ ビザスク



フリーランスの業務範囲（契約単位）

契約単位	業務範囲	期間	指揮監督	場所の拘束性	時間の拘束性	具体例
タスク型 （スポット型）	限定 （定型）	限定 （数日）	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none">・バナーやロゴのデザイン・データ入力や翻訳業務・スポットコンサルティング
プロジェクト型	限定 （非定型）	限定 （数か月～数年）	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none">・人事制度の刷新・新規事業の企画開発・システム開発や改修
ミッション型	無限定 （非定型）	限定～無限定 （自動更新）	なし （相談はあり）	場合による	場合による	<ul style="list-style-type: none">・企業のブランディング・企業の人材開発（採用育成）・販路開拓やアライアンス構築

※労働者との線引きが曖昧なケースとして以下がある

常駐フリー型	契約上は限定、 実態は無限定	限定～無限定 （自動更新）	あり	場合による	場合による	<ul style="list-style-type: none">・テレビや書籍の制作、編集・店舗における接客・システム開発や改修
--------	-------------------	------------------	----	-------	-------	--



② 「フリーランス白書2018」 調査結果

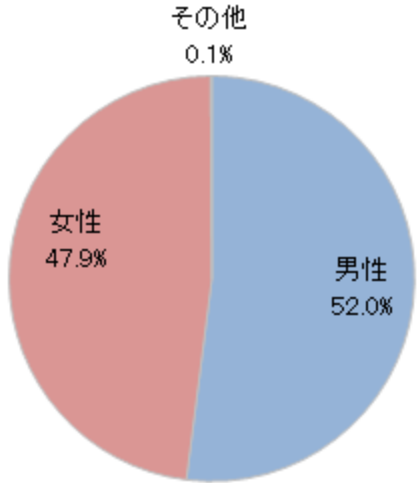
- フリーランスの実態



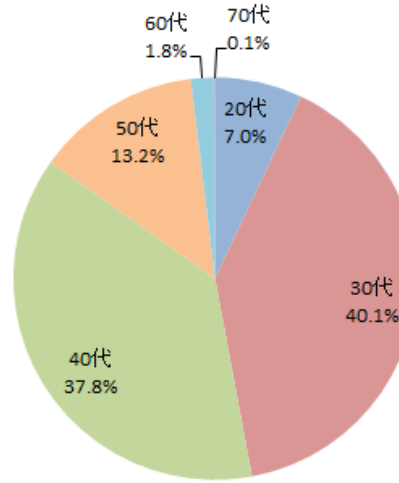
フリーランスパネル 回答者属性

(n=1411)

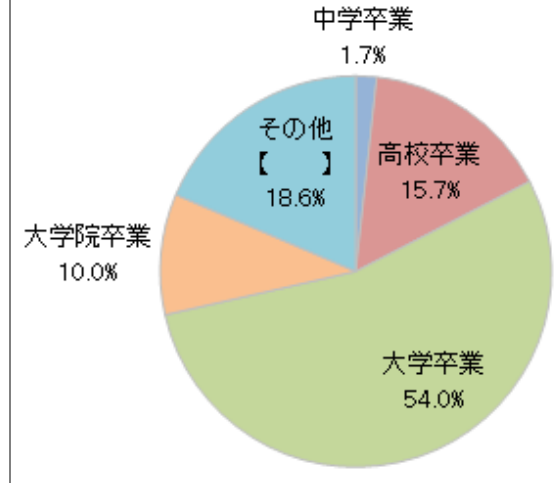
性別



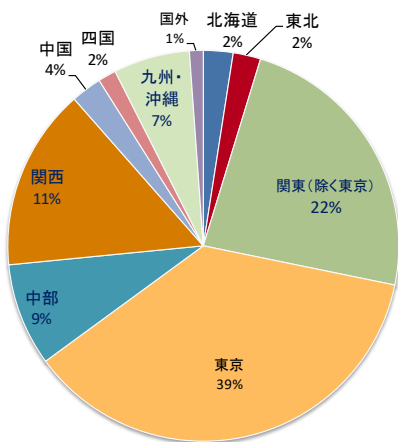
年齢



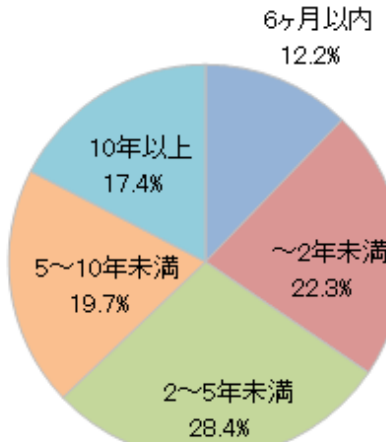
最終学歴



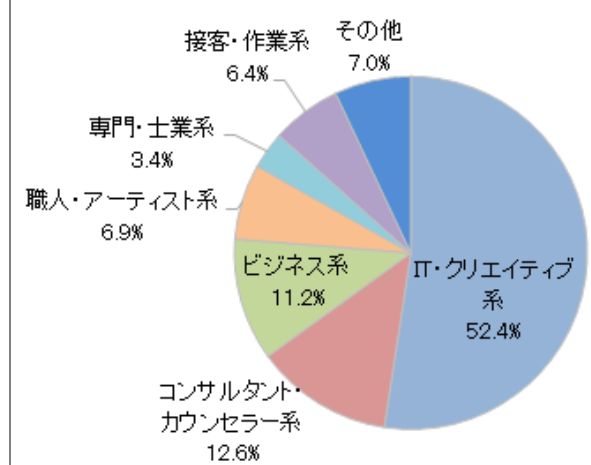
地域分布



開業後の期間



主な収入源となっている職種



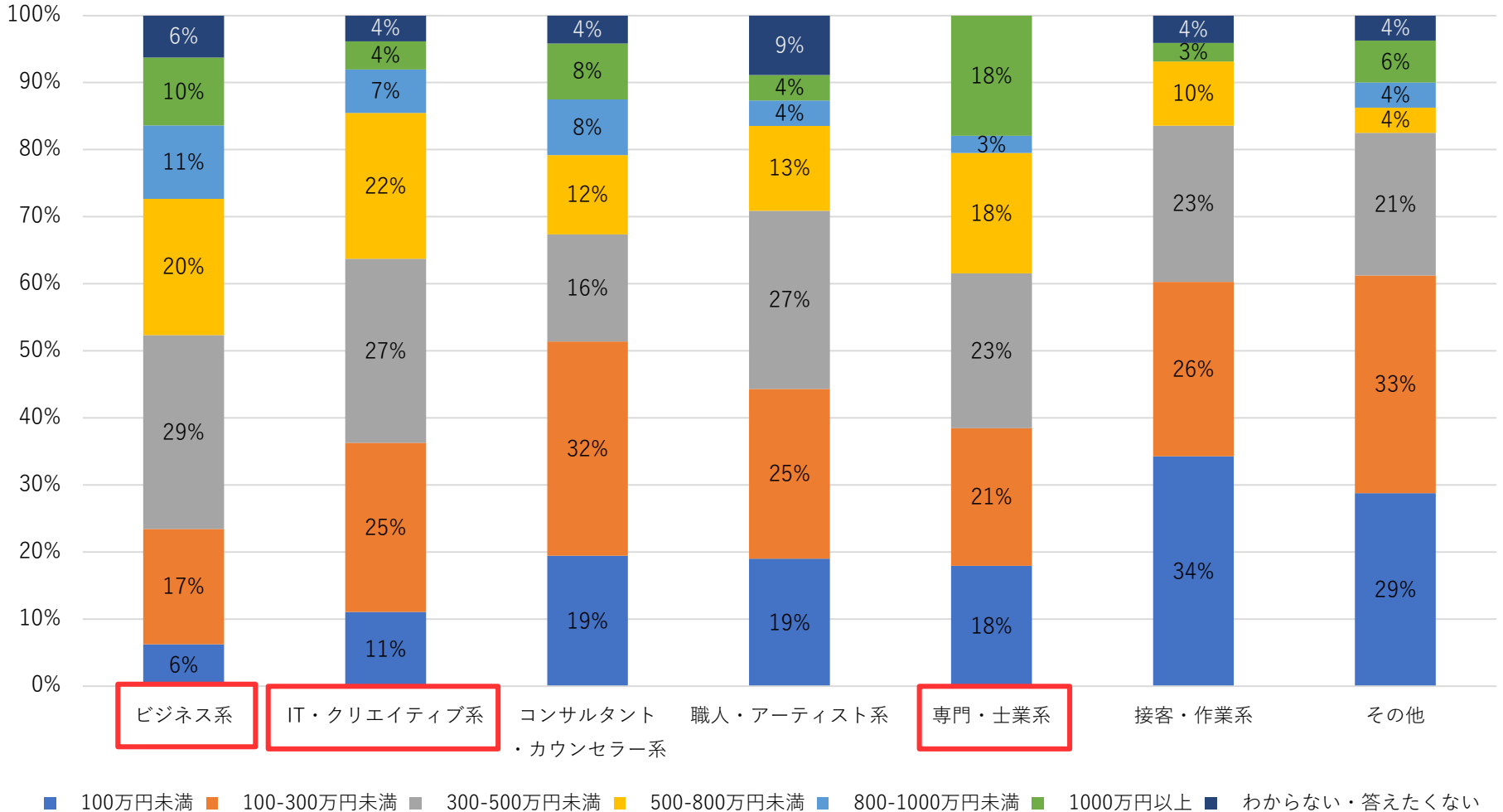


フリーランスの職種別年収構成



- ビジネス系、IT・クリエイティブ系、士業系が比較的年収が高い
- 接客・作業系(店舗接客、工場・建設現場、事務作業)は比較的年収が低い

<フリーランス> n=1141



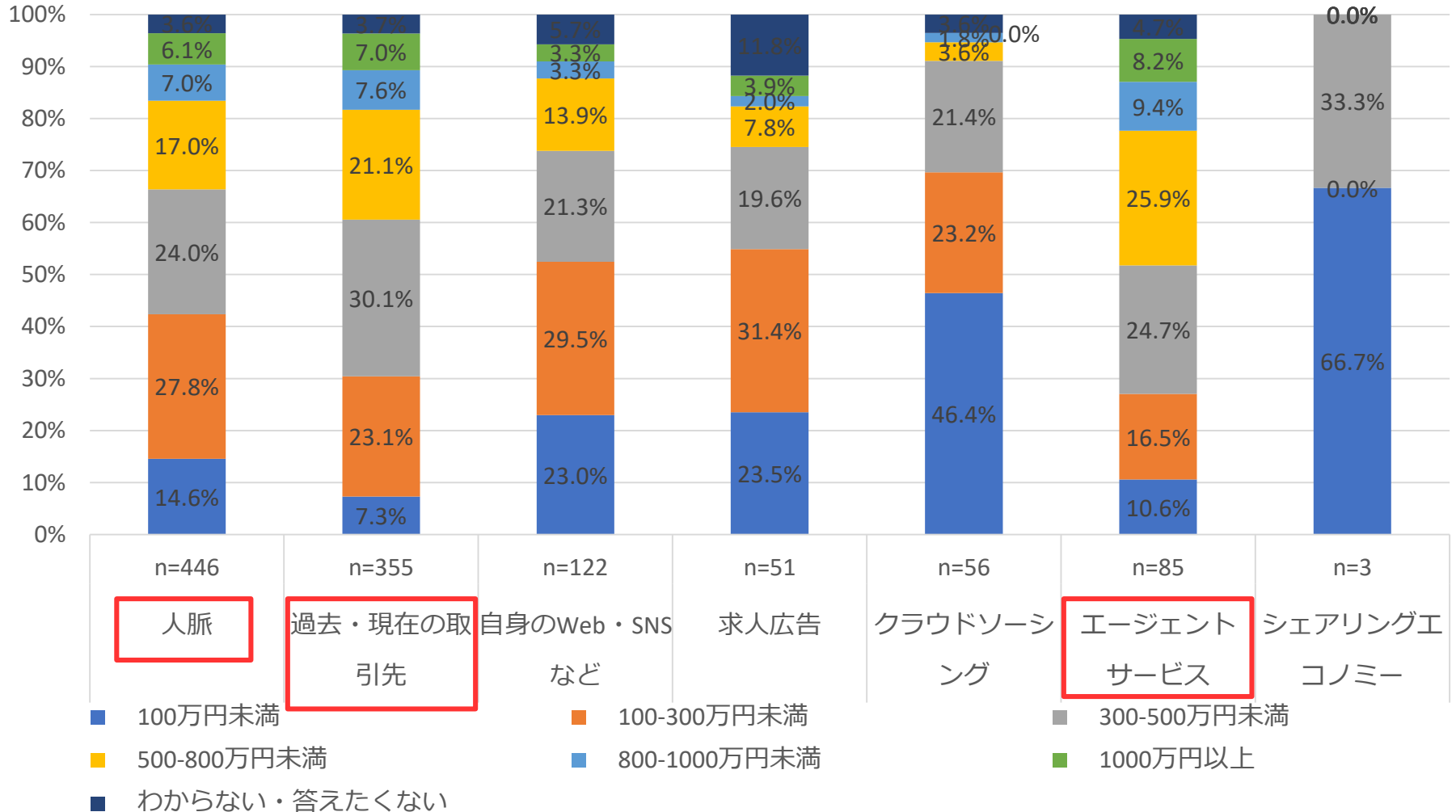


フリーランスの「最も収入が得られる仕事獲得ルート」別年収構成



- 主な仕事獲得ルートの違いで、年収に大きくバラつきがある
- 年収800万円以上の高収入者が多いのは「エージェントサービス」「過去・現在の取引先」「人脈」

<フリーランス> n=1141





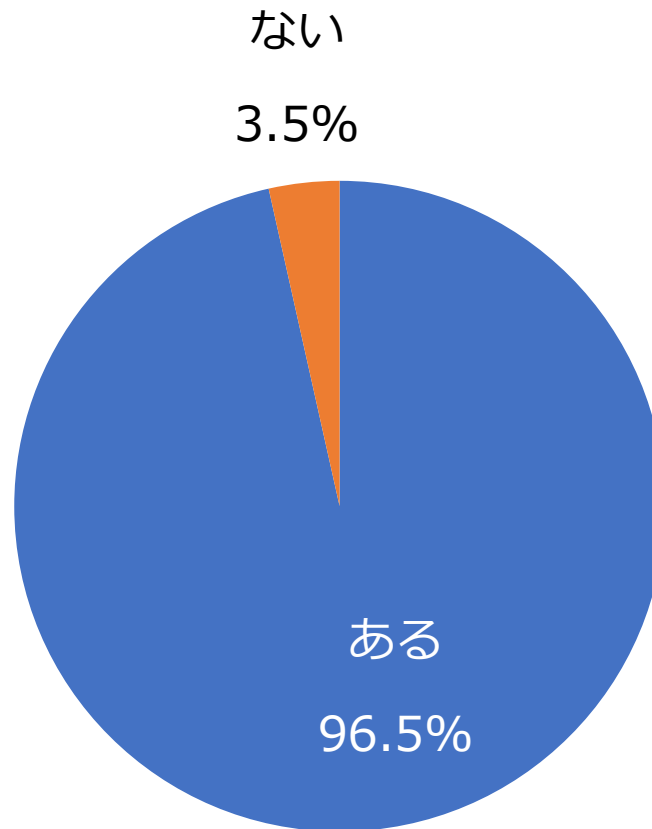
フリーランスの独立前後の変化



Q.過去に一つの会社に所属していたことはありますか？

- 回答者の96.5%が元会社員

<フリーランス> n=1141





フリーランスの独立前後の変化



Q. 会社員時代に比べて、増えた(上がった)/減った(下がった)ものは？

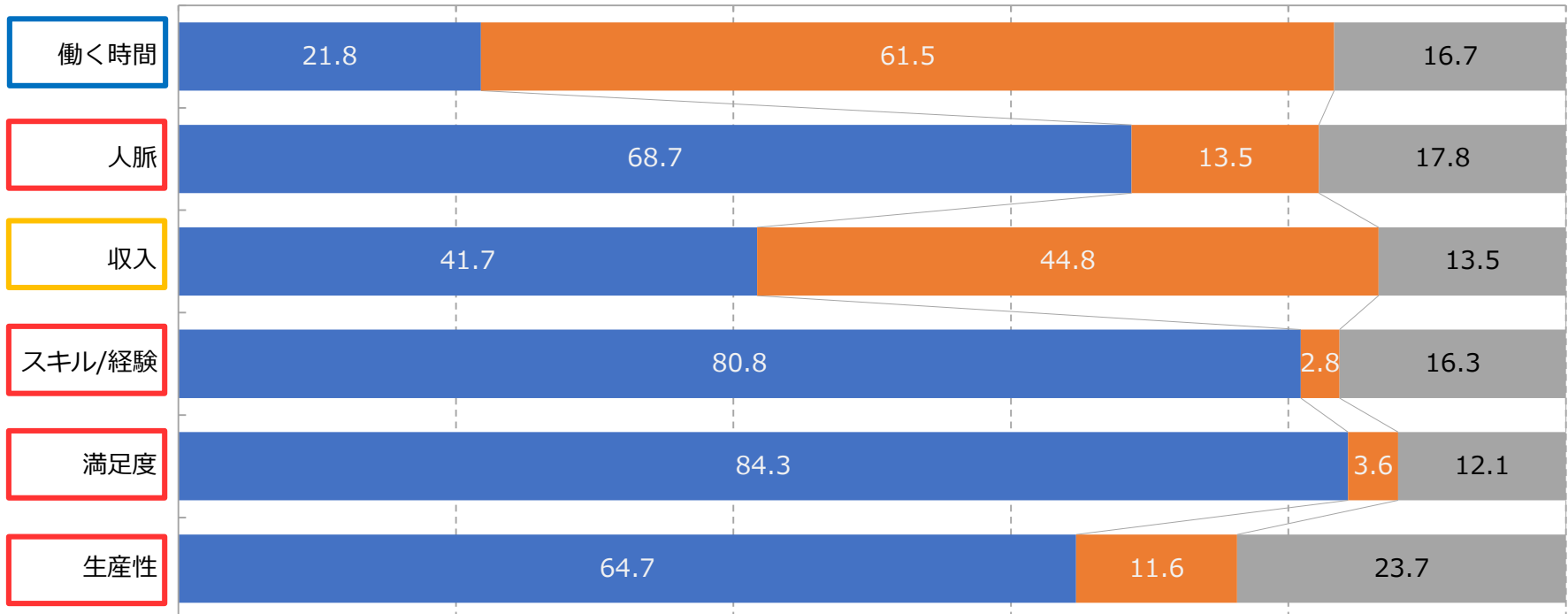
※前問で「1つの会社に所属していたことがある」と回答された方

- **向上**：満足度(84.3%)・スキル／経験(80.8%)・人脈(68.7%)・生産性(64.7%)
- **削減**：働く時間(61.5%)
- **同数**：収入（増えた41.7%/減った44.8%）

<フリーランス> n=1101

■ 増えた（上がった） ■ 減った（下がった） ■ 変わらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

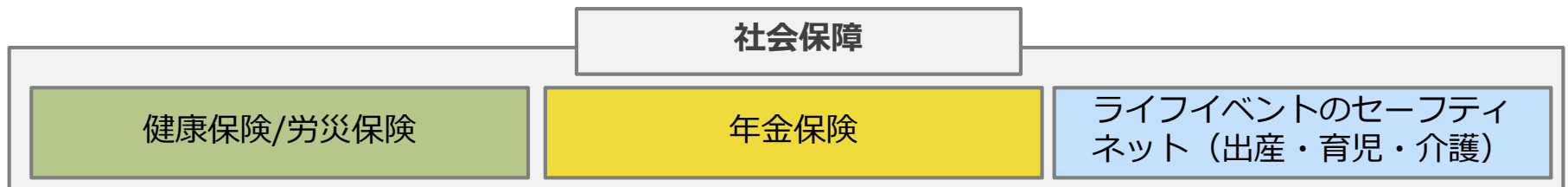




<フリーランス> n=1141

1) 政府・行政に対して

- ・雇われとフリーの最大のギャップがいわゆる「福利厚生」であることは散々指摘されていて、**育児介護病気などで働けなくなったときのリスクヘッジ制度**が求められているのは事実です。
- ・**国保・年金は高い**。収入が安定しないのに前年度収入で算出されるため収入があった翌年はキツイ。税金まわりも同じ。
- ・**企業に勤めること前提の制度設計（年金、健保など）に無理が来ているのが現状**。フリーランスのみならず、派遣社員、契約社員など正社員以外の法整備を進め、**雇用の流動性を上げながらセーフティネットを広げることが、結果的に「新しい働き方」を支えるものとなるのではないか**。
- ・超高齢者社会の中で、今後**高齢のフリーランスも増えると考えられる**のでそのあたりの対応も考えていただければと思う。
- ・**保育園の優先順位**が低いことの見直し





2) 世間の意識、社会的地位について

- ・フリーランスという働き方に対する**偏見や、地位の低さ**を解消する必要があると思います。働く個人は**自分自身でキャリアを築き、長くキャリアを構築していく覚悟**が必要です。
- ・フリーランスが、**育児や介護と両立しやすい**こと。職種によっては、どこでも仕事ができることを、広く認識されるといい。
- ・お金を稼ぐということの意識を変える必要がある。今のサラリーマン的な**時間を対価にお金を稼ぐ、ではなく社会に価値を生み出すことでお金を稼ぐ**という意識に。
- ・会社というバックアップがなければ、**ローンや賃貸契約**を結ぶのも簡単ではない。
- ・**フリーランスと会社員を行き来**できるような社会構造の実現。フリーは合わないと思ったときに、また会社員に戻るなり、別の働き方を探すなりの手段が執りやすい環境を整えること
- ・サラリーマンとしての働き方は会社に依存しすぎる部分があるので、フリーランスになるためのステップとして徐々に自立していく**中間的な仕組み**
- ・**「働く場所」でなく「質・生産性」**で評価してもらえる働き方の多様性が進むことが、今後労働人口が減っていく日本に必要なことだと思う

社会的信用
(資金調達/ローン/賃貸契約など)

キャリア自律の後押し
(一歩を踏み出しやすく/副業解禁/会社員との行き来など)



3) キャリア・スキル開発支援について

<フリーランス> n=1141

- ・業務のスキル以外に、**契約に関すること、金銭（相場感も含め）に関することなどの知識**が身につけられる環境が必要
- ・**フリーランス同士のネットワーク**を構築し、仕事を融通し合ったり、万が一仕事ができなくなったときにカバーし合ったりする
- ・ひとつのプロジェクトに対して**各ジャンルのフリーランスが集結**し、プロジェクトを遂行できるような仕組み作り
- ・フリーランス向けの**キャリアコンサルティング**の充実
- ・始めようとする人が気軽に参加できるセミナー等が、都心だけでなく地方でも頻繁に開催され、**相談する場所**ができるといい
- ・法人を起業した場合は助成金などがありますが、個人事業主にはほとんど**助成金**は支給されません。
- ・個人のスキルアップ（自己投資）に対する**経済的支援**

スキル・知識提供、
キャリアコンサルティング

フリーランス同士の
ネットワーク

スキルアップ・事業拡大に
対する経済的支援



4) 企業に対して

- ・発注者側が、専門的な技能、技術を持った人達の価値を認めて、大企業と個人という関係であっても一緒に仕事をするパートナーとして、内容に見合った報酬、条件を提示するようにならないといけないのではないかと思います。
- ・フリーランス＝「社員よりも安価に仕事を振れて、なおかつ残業や休日出勤を気にしないでいい発注先」という固定概念を払拭できればと思っています。
- ・現在のところ、安価な雇用調整としか考えていないように見受けられることがあり、企業とフリーランスが対等になっていないように感じます。
- ・企業側においては、フリーランスの働き方を縛る場合もあり、理解を得られづらいこともあるため、正社員との違いを理解するよう求めたい。
- ・企業に向けたフリーランス業態に関する知識拡充の研修
- ・企業の中に、業務範囲や成果物、責任範囲などを明確化した上で仕事を発注する習慣がないことが多く、結局あいまいなままに進んでしまうことが多い

安価で無理の利く労働力というイメージの払しょく

フリーランスへの発注リテラシーの向上
(企業向け研修など)

ジョブディスクリプションの明確化



5) フリーランスに対して

<フリーランス> n=1141

- ・「仕事」に対する意識を変えること（会社にしがみつけば生活が安定するという意識を捨てること、自分の能力、スキルを客観的に把握し出来ることに自信を持つこと、「価値」や「生産性」という観点で仕事を考えること）

- ・片手間でやる週末副業（アフィリエイトブログなど）と、高い専門性をもつフリーランス（翻訳、書籍執筆）が同等で議論されているように感じている。

- ・フリーランス側が自分のスキルを高める努力も必要

- ・TPOに応じた身なり、締切りを守ること、スケジュール管理をしっかりすること、ミスをしないよう細心の注意をはらうこと。フリーランスだからこそ、より自己管理大切。

- ・フリーランスに限りませんが、どんな職種、職業でも人によって合う/合わないというものがあります。特にフリーは「事業主」なので、会社の後ろ盾がない中すべて個人で動かなければならず、向いていない人もいます。

- ・フリーの本当の醍醐味は自力で生きていく楽しさや辛さを味わえることだと思います。

フリーランス自身の
スキルアップ、自己管理

多様性の理解

向き/不向きの見極め



③ 「フリーランス白書2018」 調査結果

- フリーランスと会社員の比較



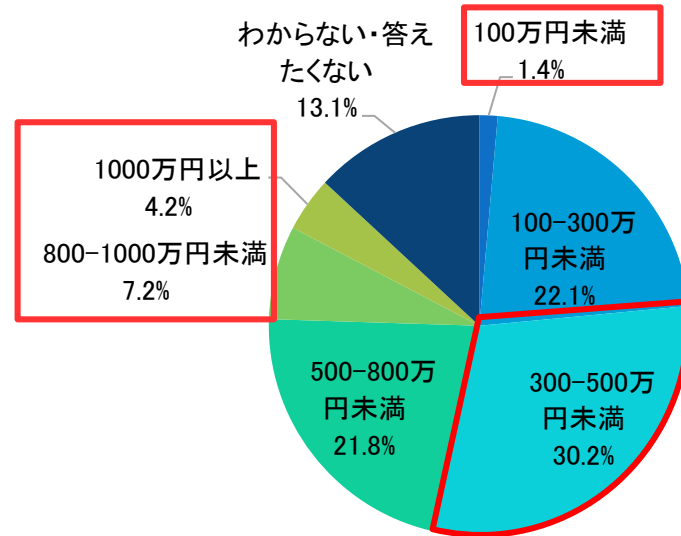
フリーランスと会社員の平均年収比較



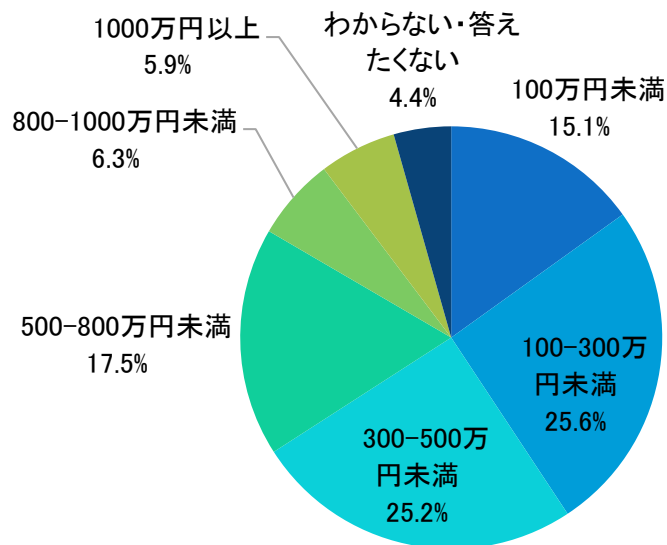
Q. 現在の個人収入は？

- すきまワーカーを除いたフルタイムフリーランスの年収(月の平均勤務時間が140時間以上の人)のボリュームゾーンは300～500万円で、**年収分布は会社員とさほど変化なし**
- 年収100万円未満と800万円以上の割合はフリーランスの方が多く、**会社員よりも年収のバラつきは大きい**

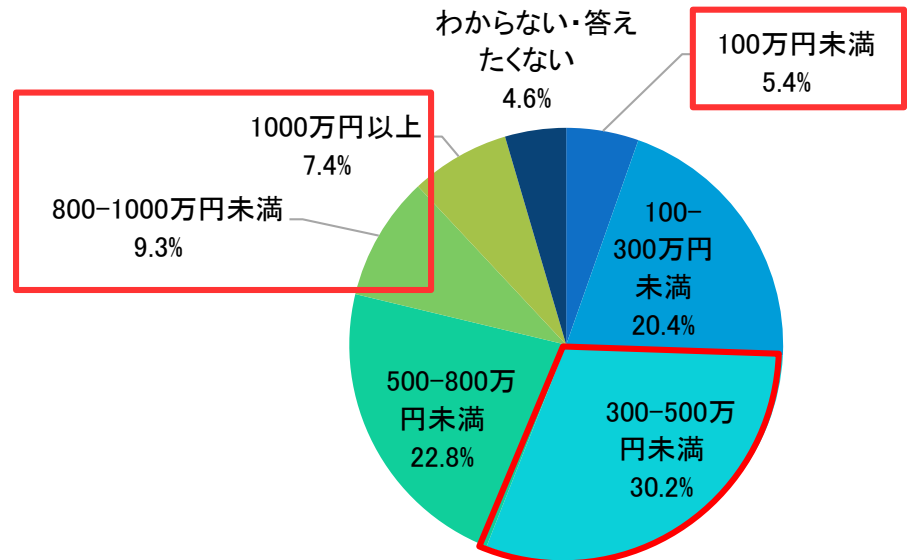
<会社員> n=1000



<フリーランス> n=1141



<フルタイムフリーランス> n=593





フリーランスと会社員の満足度比較



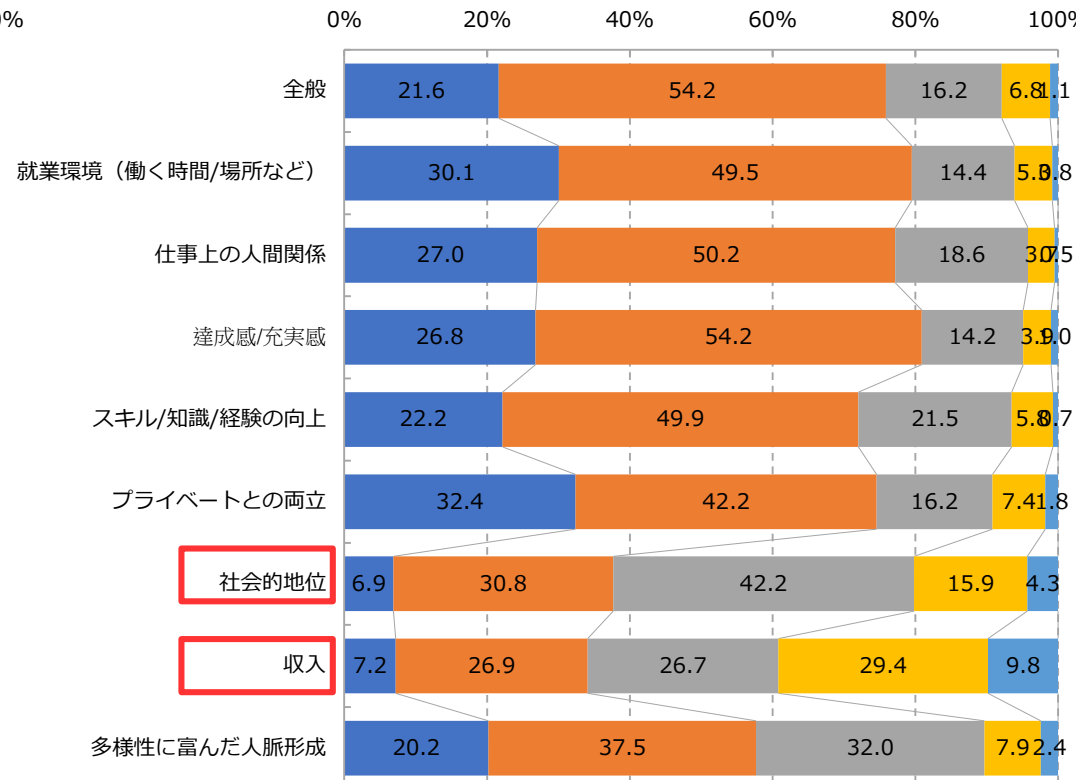
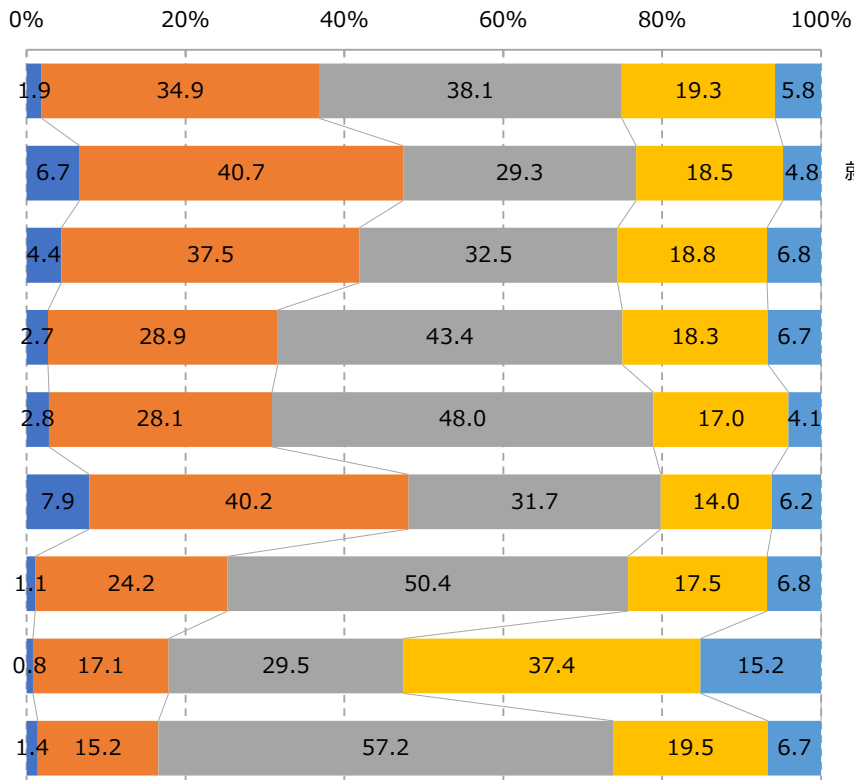
Q. 今の働き方で、下記項目それぞれの満足度はどの程度ですか？

- 全項目において、フリーランスの方が満足度が高い。意外にも「社会的地位」や「収入」においてさえ、会社員と比較するとフリーランスの満足度が高い。
- フリーランスには自ら働き方を選択し、納得した上で自律的に働いている人が多いためだと推察される。

<会社員> n=1000

<フリーランス> n=1141

■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない ■不満 ■非常に不満





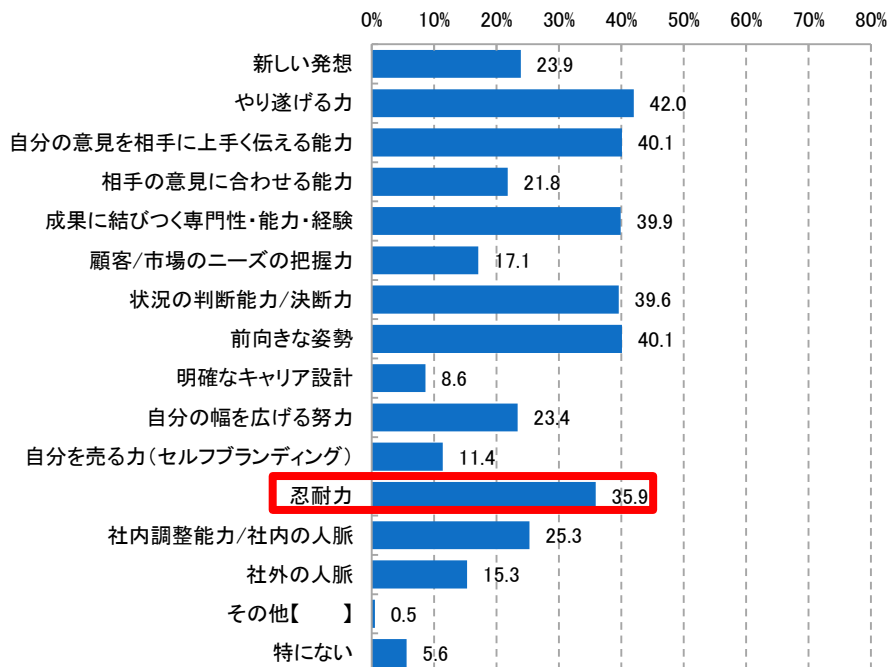
フリーランスと会社員の仕事に対する意識比較



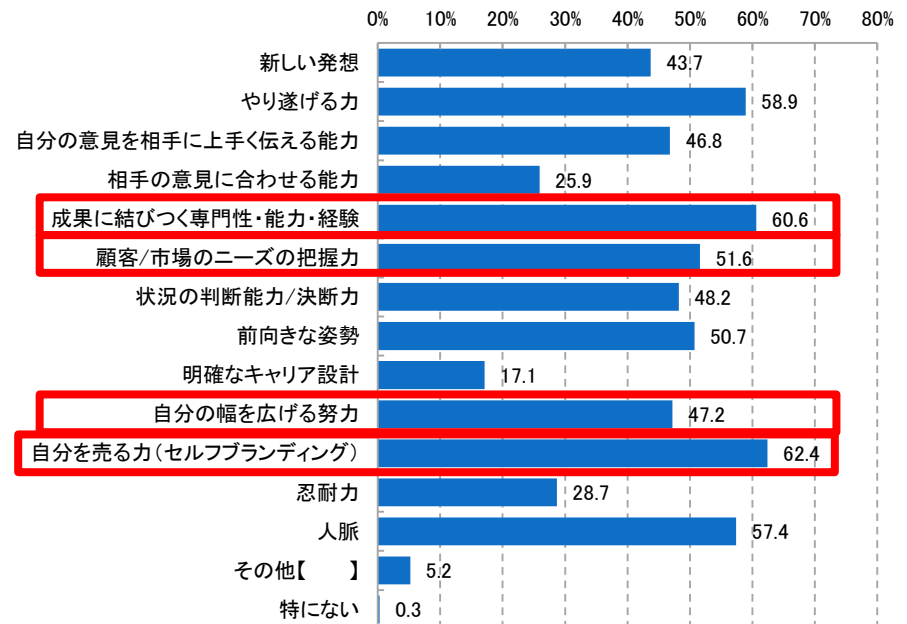
Q. 現在の働き方を続ける/成功させる上で重要だと思うものは？

- 全体的にフリーランスは会社員と比較して、様々な能力・資質をより重要視
- 特にポイント差が大きいのは「自分を売る力(セルフブランディング)」(+26.5%)、「顧客/市場のニーズの把握力」(+34.5%)、「自分の幅を広げる努力」(+23.8%)、「成果に結びつく専門性・能力・経験」(+20.7%)
- 唯一、会社員の方が重要視している項目は「忍耐力」
- 会社員も副業に挑戦するなど自分の名前で仕事を請ける経験を重ねることで、様々な能力・資質をより自覚的に高めようとするようになる可能性はある

<会社員> n=1000



<フリーランス> n=1141





④ 調査結果に基づく提言



1) 企業におけるフリーランス人材活用の促進

本調査により、フリーランスの仕事に対する意識の高さや満足度が明らかになった。企業にとってフリーランス人材（独立系および副業系）活用への関心はますます高まっていくと考えられる。

その一方で、日本企業のフリーランス人材活用リテラシーはまだ十分に高いとはいえない。非自発的な理由により雇用システムから漏れてしまっていて、経済的・人的に自立できていない雇用類似の「偽装フリーランス」や「準従属労働者」の増加も懸念される。

企業によるフリーランス人材の悪用を防ぎ、専門性やスキルを持ったプロフェッショナルの活躍を推進するために、政府や自治体には以下の取り組みが期待される。

- ・ **フリーランスを活用するためのノウハウ、法制度、事例の共有**
- ・ **フリーランスを活用する企業に対する政府・自治体からの助成**
- ・ **多様な働き方の悩みに包括的に答えられる相談窓口の設置**
- ・ **業務委託のための公的なジョブマッチング制度の検討**

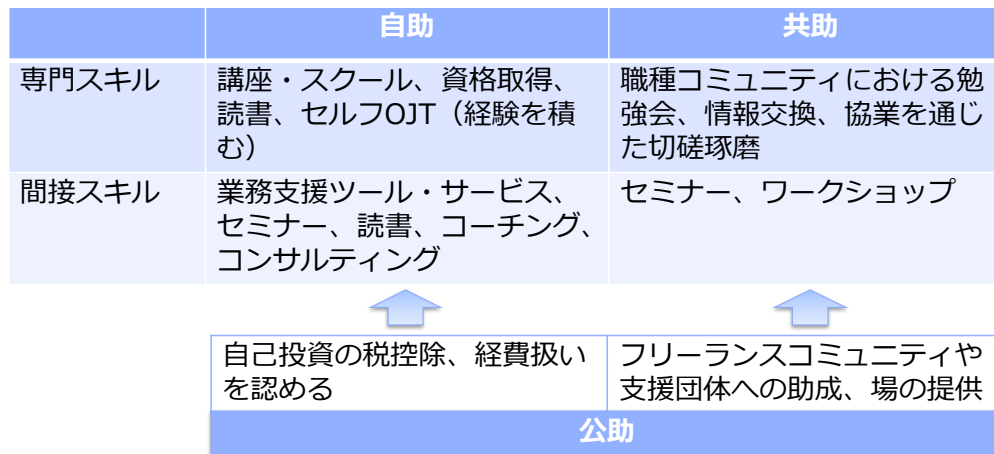


2) 多様な働き方に対応したキャリア開発サポート

フリーランスは、働いた時間ではなくパフォーマンスに対して報酬が発生する。シビアな競争の世界であり、生き抜くためには継続的に自己研鑽や自己投資を続けなければならない。リカレント教育は、雇用形態問わず誰にとっても重要であると考えられるが、そのための予算の殆どは雇用保険を財源としている。

これまでは自ら選択して独立したフリーランスのキャリアやスキルの開発は基本的に自己責任とされてきたが、一人ひとりが個の力を高め、長く働くことが求められるこれからの時代には、以下のような仕組みが必要になるのではないかと考えられる。

- ・ **自助や共助によるキャリア・スキル開発を、公助で経済的支援（税控除、助成など）**
- ・ **個人向け資金調達手段（勤め先に依存しない与信の仕組み）の整備**





3) 多様な働き方に中立な社会保障の再編

フリーランスという働き方を選択する上では、そのための専門性やスキル、収入源（ポートフォリオや見込み）、覚悟を持って、ビジネスリスクを自ら引き受けることが前提となる。しかし、病気やケガ、子育て、介護、老いなどのライフリスクは働き方に関係なく誰しものが背負うものであり、そのためのセーフティネットは働き方に中立であるべきだ。会社員を是とする時代に作られた制度の見直しが必要である。

・ 多様な働き方に中立な社会保障の財源設計

		正社員	非正規社員	経営者・役員	フリーランス
雇用保険	失業保険	○	△	×	×
	育児休業給付・ 介護給付	○	△	×	×
	職業訓練給付	○	△	×	×
労災保険	所得補償	○	○	×	×
	傷病補償	○	○	×	×
健康保険	被用者	○	○	○	×
					(国民健康保険)
年金保険	厚生年金	○	△	○	×
					(国民年金)
労働法	育児・介護休業	○	△	×	×
その他	キャリアアップ助 成金	×	○	×	×



4) 副業解禁による自律的キャリア形成の推進

コンプライアンスリスクや本業への支障を理由に、副業解禁に後ろ向きな企業は依然として多い。しかし、65歳以上になっても社員の雇用を守ることは現実的ではなく、社員が路頭に迷うことのないよう、早めの自立支援が求められる。企業にとっての副業の不安を払拭し、現場社員の意識を向上させるため、以下のような取り組みが期待される。

- ・ **副業に関する制度設計のノウハウや事例の共有（企業向け）**
- ・ **多様な働き方をアドバイスできるキャリアカウンセラー育成（個人向け）**



3種のフリーランス課題

雇用類似の働き方に関する検討会報告書の5（10）総括で挙げられた事項等を参考に課題を整理すると、以下のような分類が可能と考えられる

仕事上のトラブル対策 Business Trouble

契約条件の明示

契約内容の決定・変更・終了
ルールの明確化

契約の履行確保

ハラスメントの防止
(セクハラ、パワハラ、
マタハラなど)

トラブルの相談窓口

仕事上のリスク対策 Business Risk

最低報酬

労働時間規制

失業保険

ジョブマッチング機関
(業務委託版ハローワーク)

スキルアップ/キャリアアップ
支援・助成

生活健康のリスク対策 Life Risk

出産・育児・介護などの
セーフティネット
(休暇や所得補填)

労災保険

健康保険組合

厚生年金



Appendix : 多様なフリーランス

- ・ 2017年4月 法人化記者発表資料より



デザイナー（クリエイターズマッチに登録）



木戸 志保（きど しほ）

主な経歴

簡単ではありますが経歴を紹介させていただきます。大阪、東京のプロダクションにグラフィックデザイナーとして所属した後、フリーランスに転身して14年目になります。現在はIT技術関連の雑誌・書籍のエディトリアルデザインや販促用パンフレット、POP、バナー広告のデザインを行っており、その他、屋外サインのデザインなども手掛けております。

■フリーランス歴 / クリエイターズマッチ登録年月
14年9か月 / 2002年4月

■職業・主な業務

グラフィックデザイン
エディトリアルデザイン
Webデザイン

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

「先輩の会社独立に伴い退社をして、設立に参加したのですが、事情により3ヶ月ほどで何の宛もなく退社…。同じ時期に某雑誌社に勤めていた知人より雑誌のタイアップ広告などの案件を紹介してもらいようになり、そのまま成り行きでフリーランスとなりました。」

■フリーランスとして働く魅力と困っていること

「フリーランスの魅力とっていいのかわからないのですが、組織の中でディレクションというのが苦手ですが、ただ自身で制作を手がけることが魅力です。困っていることはやはり技術的な新しい情報に敏感でないと取り残されていくという不安です。」

■フリーランス協会に対する期待

「フリーランス全体の認知向上という部分に対して非常に期待しております。またその中でスキルの向上などの教育事業や社会保障などを実現し、拡充していただければフリーランスにとって本当に働きやすい環境が見つかるのではないかと期待します。」



マーケター（Warisに登録）



日下 朋子（くさか ともこ）

主な経歴

楽天にて広告販売営業、広告商品企画、ポータルサイトのプロデューサーほか
2014年～ベンチャー企業にて新規事業の立ち上げ
2015年～フリーランスのプロデューサー

■フリーランス歴 /Waris登録年月
2年 / 2015年1月

■職業・主な業務
プロデューサー
（マーケティング、広報PR、広告企画）

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ
直接のきっかけは体調を崩し入院したこと。当時勤めていた会社を休職しましたが、休職可能な期限がきてもオフィスで週5フルタイムの会社員として働ける状態には戻れなかったためやむなく退職しました。体に負荷をかけない形で時間や場所にとらわれない働き方を探すうちに、フリーランスとして働き始めることに思い当たりました。

■フリーランス協会に対する期待
「単なる『業者』ではなく、『パートナー』として対等にお仕事できる環境を整備していただきたいです。そのためにフリーランスという働き方の認知を上げ、効果的なフリーランスの活用法について発注側（企業側）を啓発していただければ嬉しいです」



ライター（ランサーズに登録）



三河 賢文（みかわ まさふみ）

主な経歴

2005年8月フリーライター
2007年4月医療系人材サービス企業（営業職）
2010年1月webサービス企業（事業企画）
2010年4月製造業 会社役員（設立時取締役）
2010年6月ナレッジ・リンクス（株）代表取締役
※2013年4月より都内中学校陸上競技部コーチを
平日に週2回務める。

■フリーランス歴/ランサーズ登録年月

9年（通算）/2010年10月

■職業・主な業務

ライター

得意なジャンルは、IT機器のレビュー、スポーツ（ランニング雑誌やマラソンのレースレポートなど）、キャリア(就職ノウハウ、人材会社の選び方)など。

■フリーランサーの道を選んだ動機、きっかけ

長男が生まれた時に、会社員として勤務していたが、子供の成長を傍で見ることができなかった。そのため、「子供の成長をもっと、身近で見たい」と感じ、フリーランスへと転身した

■フリーランス協会に対する期待

「自分らしく働くための1つの手段であるフリーランスやパラレルワークという選択肢には、金銭・健康・教育・地位など課題が山積みです。誰もが安心して前向きに理想の働き方・生き方を目指せる社会の実現に向け、フリーランス協会が大きな支えとなることを期待しています。」



キャリアカウンセラー（ボイスマルシェに登録）



渡辺 里佳（わたなべりか）

主な経歴

- 1980年4月 インテリア関連企業に就職。宣伝企画部配属
- 1987年5月 フリーランスとしての活動を開始
- 2011年8月 離婚カウンセラー資格を取得
- 2013年5月 ボイスマルシェに参加。
個人向けカウンセリングの活動を広げる。

■フリーランス歴/ボイスマルシェ登録年月
およそ4年/2013年5月

■職業・主な業務

夫婦関係・離婚カウンセラー
2011年「離婚カウンセラー」資格を取得。
(NPO法人日本家族問題相談連盟認定)

自らの結婚、離婚、シングルマザーの経験を活かし、「誰にも相談できない」と孤立しがちな夫婦問題に関するカウンセリングを行っている。カウンセリングの目標を「相談者が幸せになること」と定め、客観的・長期的・俯瞰的視点で、誠意と愛情をもってサポートしている。また、30年近く、フリーランス・ライターとして活動中。雑誌やネットを媒体に、生活に密着した記事を発信中。

■ボイスマルシェに参加したきっかけ&活動実績

離婚カウンセラーとして情報発信していたブログ経由で、2013年当時まだ黎明期だったボイスマルシェの創業者からスカウトを受けたことをきっかけに、ボイスマルシェに参加。以降、ボイスマルシェの成長とともにカウンセリング実績を伸ばし、現在では「離婚・夫婦関係テーマ」を牽引する人気カウンセラーの一人。



事業開発コンサルタント（サーキュレーションに登録）



守屋 実（もりや みのる）

主な経歴

株式会社ミスミにて新規事業開発を担当、その後、株式会社エムアウトをミスミ創業オーナー田口氏と共に創業。

独立後は新規事業創出の専門家として活動。ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立ち上げ、副社長を歴任後、博報堂SEEDATA、株式会社ジーンクエストなど複数社の取締役・顧問、株式会社リクルートホールディングスなどの各社アドバイザーなどを歴任。

■フリーランス歴 / サーキュレーション登録年月
6年4カ月 / 3年(創業時)

■自己紹介

新規事業創出専門家

47 = 17 + 8 + 22

年齢 = 企業内起業 + 独立起業 + 週末起業

■独立の道を選んだ動機、きっかけ

「ミスミとエムアウトで計20年間、17の新規プロジェクトを手がけたタイミングで、オーナーの田口さんに『独立したら？』と言われたのが最初のきっかけです。特化した経験や専門性を磨いて、複数社で働き、社会に循環していく方が、時代の要請に合っている働き方だと思います。」

■333

- ・ これまでは、30年かけて、一社を勤め上げた。
- ・ いまは、一生のあいだに、3回転職する。
- ・ これからは、一度に同時に、3社に貢献する。

■フリーランス協会に対する期待

「私の周りにも、能力が非常に高く独立しても十分にやっていけるだろうと思える人が大勢います。しかし、保証がない働き方に一歩が踏み出せない。協会には、新しい働き方がもっと世の中へ受け入れられるような施策を期待しています。」



後藤 大輔 (ごとう だいすけ)

主な経歴

NTTデータ (2005~2016年)。主に、システム開発案件のプロジェクトマネジメント業務を9年 (オフショア開発として北京に長期滞在含む) ほど実施し、のちに組織の事業計画・財務企画などの組織運営の職務を経験。11年3ヶ月経ち独立。現在は株式会社東京銭湯 取締役番頭として主には経営する「喜楽湯」の現場マネジメントや各種対外活動を従事する傍ら、プロジェクトマネジメントやファシリテーションスキルを活かし、数々の現場で活躍。

■フリーランス歴 /Project BASE登録年月
1年 / 2016年11月

■職業・主な業務

株式会社東京銭湯 取締役番頭
主にシステム開発のプロジェクト・マネジメント業務 / ファシリテーション業務

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

一つの道に縛られず、どんな環境でも楽しくいられるような柔軟で強い生きる技術を身につけるため。結果的に、フリーランスになる意思を固めたタイミングと重なって、サラリーマン時代に活動していた東京銭湯を法人化する運びとなり、現在は会社経営 (銭湯) とフリーランス を並行して活動している。

■フリーランス協会に対する期待

多様な生き方をする人が多ければ多いほど、より楽しい世の中になると考えています。そんな多様性のある人が自己表現をするために、フリーランスという立ち位置は非常に重要であり、柔軟であり、充足・充実するために有効な手段と考えています。そんな働き方を選べる人が一人でも増えるよう制度的な環境面・世の中における立ち位置的な面について、向上するような取り組みを切に願います。



エンジニア（ITプロパートナーズに登録）



鯉淵 哲也（こいぶち てつや）

主な経歴

新卒でドコモ・システムズ株式会社に入社。5年ほどSIerとして働き、設計やプロジェクトマネジメントを担当。その後WHRPというベンチャー企業にてソーシャルゲーム立ち上げに携わり、DeNAに転職。3年程勤めスキルアップした後に2015年にフリーランスとして独立。現在は飲食マッチングサービスやインターネットラジオ等、様々なサービスを手がける。

■フリーランス歴/ITプロパートナーズ登録年月
2年/2015年11月

■職業
エンジニア

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ
「会社に入って何かプロダクトを作ろうとすると必ず利益が絡み、それと自分が良いなと思うプロダクトとの間に乖離が絶対どこかにあったからです。その思いはベンチャー時代でもDeNA時代でも感じていました。だから、本当に自分がやりたいと思うことがあるならば、1人であっても自分が納得いくプロダクトを作り、ある程度生活できる分を稼げる環境を作りたいと思い独立しました。」

■将来的にチャレンジしたいこと
「最終的には今のエンジニアの働き方が週2,3日という所から時間や場所に関係なく人と人、企業と人が交わっていけるような環境を作っていきたいです。」



スイミングインストラクター（Zehitomoに登録）



大森 たく

主な経歴

インストラクターとして水泳指導を経て、スポーツクラブに入社。現在はフリーランスとしてスイムランに所属しながら水泳指導を行っている。

■フリーランス歴

2年

■職業・主な業務

スイミング・インストラクター（水泳指導）

初めて泳ぐ方やジュニアレベル選手といった上級者まで、幅広く指導。水泳関連資格 公認水泳指導員、水上安全法救助員、急救法救急員、介護福祉士、障害者スポーツ指導員、他多数所有。

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

スポーツクラブでの水泳指導の経験を活かし、受講者主体の水泳指導を実践するためにフリーランスでの水泳指導を志しました。

■フリーランス協会に対する期待

フリーランスがよりビジネスの幅を広げられるよう、個人では得にくい情報や様々な機会を発信して頂きたいと思っています。またより多くのお客様に対して「フリーランスに仕事を依頼する」という新しい選択肢を促進して頂きたいです。

カメラマン（OurPhotoに登録）



江波戸 拓哉（えばと たくや）

主な経歴

2002年 4月 介護機器製造会社に入社

2008年 6月 写真の魅力に惹かれ、休日カメラマンの活動を始める（※主にブライダル）

2016年 9月 会社を自主退社、フリーランスに。

現在はファミリーフォト、取材写真、物撮りなどを中心に活動。独立に向けて勉強中。

■フリーランス歴/OurPhoto登録年月
9年（副業期間含む） / 2016年6月

■職業・主な業務

フォトグラファー

主にブライダルや取材写真の他、七五三やカジュアルな家族写真など幅広く対応。

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

きっかけは、「たまたま友人の結婚式で撮った写真が、本人にすごく気に入って貰えた」という、些細な事です。

会社に勤めている時は例えどんなに仕事をして、こういった直接的な感想が貰えなかったため、非常に新鮮な衝撃を受けました。

■フリーランス協会に対する期待

これからフリーランスになろうとしている方、また、すでにフリーランスとして活動している方々の不安や疑問に答えてくれるような、頼りある協会になって欲しいと思います。



ハウスキーパー（タスカジに登録）



杉原 智子（すぎはら ともこ）

主な経歴

1966年生まれ（50歳）
アパレル会社Aに就職し、総務に配属。29歳でアパレル会社Bに転職し、総務と人事を担当。32歳で結婚し、アパレル会社Cに転職。総務・人事に加え、経理にキャリアを広げる。34歳で出産、産後3ヶ月で復帰。息子が小2の時に管理部長に。47歳でジュニア野菜ソムリエ取得。2015年4月に48歳で退職。レストランや惣菜専門店で修行をするうちに、知人の勧めでタスカジに登録。

■フリーランス歴/タスカジ登録年月

5ヵ月/2016年8月

■職業・主な業務

ハウスキーパー（作り置き）
野菜ソムリエの知識を活かし、バランスの良い献立を意識。運動部の息子向けに工夫を重ねた食べ応えあるメニューも好評。フルタイム勤務経験が長かったため、共働き家庭に役立てることが喜び。

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

道を選んだというより、たまたま勧められて始めたタスカジの働き方が、まさに自分のやりたいことだったと、後から気付きました。料理の仕事経験がない自分でも、料理を通じてこんなに人に喜んでもらえるということで、自信になり、世界が広がっています。他人に言われた仕事を長い間こなしてきたのですが、今は自分で考えて、自分の手で思う通りの自己表現ができるので楽しいです。

■フリーランス協会に対する期待

国保の手続きなど、フリーランスデビューのための情報を発信してもらえると良いなと思います。また、仕事の幅を広げられるネットワーキングや、プロジェクト参加の機会に期待したいです。



シェフ（マイシェフに登録）



はっぴい（藤田幸子）シェフ

主な経歴

レストランパティシエ、フレンチレストラン勤務、栄養士業務などの後に独立。
出張料理を中心に、栄養士と野菜ソムリエの資格を生かしての料理教室、企業向けのレシピ提供や商品開発を担当。

保有資格

調理師、栄養士、ジュニア野菜ソムリエ、食生活アドバイザー、食品衛生管理者

■フリーランス暦

3年4ヵ月

■職業・主な業務

出張料理人。

「野菜を食べて食育！」をテーマに、野菜を親子で楽しめるカジュアルフレンチで、年間200件を渡り歩くママ向け出張シェフとして活動する。

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

「出張料理や料理教室を開講し、幅広く料理家活動をしているシェフのアシスタントとして勤めていた事がきっかけとなり、友人へのお出張料理や料理教室を始めたところ反響があったので、フリーランスの道を志しました。」



英会話講師（GLOBAL CROWNに登録）



西光 千佳（さいこう ちか）

主な経歴

2004年よりJALの客室乗務員を経て、2006年からヴァージン・アトランティック航空の客室乗務員としてロンドン勤務。

2010年に帰国後も、大使館や国連大学本部、ECCの幼児向けの講師として語学力を活かして勤務。

2011年に結婚、2012年の出産を期に退職。

2015年より、GLOBAL CROWNの講師をスタート。

■フリーランス歴 / 登録年月

10ヶ月/2015年3月

■職業・主な業務

英会話講師

オンラインレッスンの仕組みを使った子ども向けのマンツーマンレッスンおよびグループレッスン

■フリーランスの道を選んだ動機、きっかけ

娘の出産を機に、育児に専念したい気持ちから退職しましたが、入園後に仕事復帰を考えていました。そんな時、ママ友たちがフリーランスとして働いていると聞きました。同時に、友人からGLOBAL CROWNを紹介してもらい、自分のペースに合わせて働けると思い始めました。

■フリーランス協会への期待

育児をしながら、一度離れてしまった仕事をまたイチから始めるのは厳しいと感じました。

協会設立によって、より多くの方に、枠にとらわれずに自分で選べる働き方があることを知っていただきたいです。ひとりでも多くの方がその才能を生かせる場を、輝ける場を見つけられるきっかけになればと思います。



ご清聴ありがとうございました